

令和元年9月23日  
福岡管区気象台  
宮崎地方気象台

令和元年9月22日に宮崎県延岡市で発生した突風について  
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

9月22日08時30分頃、宮崎県延岡市平原町で発生し、桜ヶ丘付近にかけて被害をもたらした突風の種類は竜巻と認められます。その強さは風速約50m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

9月22日08時30分～40分にかけて、宮崎県延岡市平原町から桜ヶ丘付近にかけて道路交通標識の倒壊や住家の瓦のめくれなどの突風による被害がありました。

このため、宮崎地方気象台は突風をもたらした現象を明らかにするため、9月22日から23日にかけて職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と認められる。

（根拠）

- 突風発生時に移動する渦を撮影した動画が得られた。
- 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- 被害や痕跡は帯状に分布していた。
- 被害から推定した風向は、様々な方向を示していた。
- ゴーという音が移動したという証言が複数得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約50m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

（根拠）

- 道路交通標識の倒壊。
- 屋根瓦のめくれ。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：宮崎地方気象台 調査官 大盛  
電話：0985-25-4032 FAX：0985-25-5540